

地域密着型サービス評価の自己評価票

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

▼ 取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
・理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている		理想と現実との差もあり課題が多い職員間の信頼関係の醸成・連携の強化を第一に取り組みたい。
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる		
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる		
2. 地域との支えあい			
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている		
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている		外から見学等で参加することが主であるが、中に入って直接関わる交流も図って行きたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	社協主催のボランティア講座をホームで開く。認知症高齢者への理解、関わり方などを話すと共に、利用者ともふれあっていただく。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	介護職員も自己評価票の作成に参加。業務を省みながら、業務の参考にしたり取り入れるなど実践に役立てるように取り組んでいる。		実践に活かせる項目を選択し、現況と重ねた勉強もして行きたい。
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	前年度の評価票を報告、その後の取り組み状況を説明し、それに対する意見や提案を受け、更に業務に直結したものにするための取り組みを行っている。		
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	随時、不明なこと等に対する指導・アドバイスを受けている。		
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	職員の研修や会議で必要に応じ説明する。実際に支援を必要とされたり、検討を要する案件が生じたケースはないが、随時学ぶ機会を作っている。		
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	日常の仕事で問題意識なくしてしまうような些細なことでも、対応で懸念される場合は、具体的事例を上げ説明し、改善をする。会議などでも必要性によって随時検討する。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4.理念を实践するための体制				
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入所前には介護方針やケアのすすめ方等、契約時には具体的な契約内容、個別のケースの対応の取り方などの説明と相手からの質問などを受ける。</p>		
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>利用者とのコミュニケーションを重視し、不安や不満など日々の会話や、関わりの中から確認し、職員間で情報を共有し、必要に応じ、全体で検討したり、管理者に相談する。又、意見箱を設置している。</p>		
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>生活や健康、またケアに関することなど随時報告し、様子を把握して頂くと共に、ご理解を頂いている。日用品の買い物がある場合には、家族に了承を得てから行っている。</p>		<p>定期的なお便りや写真など取り組んでいきたい。</p>
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>機会あるごとに話しをし、気兼ねなく苦情や意見・要望を表せる関係作りを進めている。又、意見箱を設置している。</p>		
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>随時話しをする機会を作っている。有効な提案は出来る限り取り入れる。(敬老会の家族参加・掃除用具の新規導入・自宅の草むしりや柿にミョウガ採り等)</p>		
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>生活や行事・通院に合わせた勤務調整をしている。(ホームの嘱託医を主にせず、入所前の主治医及び専門医など家族と相談し適宜病院を選択しているので通院の範囲が広がっている。)</p>		
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>必要に応じた異動に努めている。担当者の変更があったときなどは、計画作成担当者及び介護主任等がフォローに努めている。</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援				
19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	初期段階では、主任を主とした専任者による現場指導。機会・内容を選び外部研修などに参加する。月1回の法人内の研修会にも業務全般に関する事を学ぶ。		
20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	19年度に地域のグループホーム事業者連絡協議会が設立。まだ、具体的な活動は行っていないが、積極的に関わって行きたい。必要毎に連絡を取り合い、情報・意見交換などを行っている。		
21	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	随時、話しを聞いたり、したりすることを心掛けている。状況の許す限り、希望に沿った休日・勤務形態を作っている。わずかであるが、フリーな休憩タイムを作れるようになった。		多面的な問題も多く難しいが、まだまだ不十分なので、定期的に話しを聞いたり、その他の方法など工夫して行きたい。
22	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	希望する非常勤職員については仕事の内容を評価し、正職員への昇格を積極的にすすめている。又、仕事の内容を精査した上で、時間外手当を滞りなく支給し、サービス残業が発生しないよう努めている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	家族より事前に家での生活の様子をお聞きし、その上で本人とお話しを通して、今何で困っているか、不安なのか等を傾聴している。		
24	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	家族での介護困難な状態や、本人を取り巻く家族関係、問題などを傾聴している。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人や家族から話しを傾聴し、職員が連携を図りながら必要な援助をしている。		
26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人が不安無く過ごせるよう、まずは職員との関わりやコミュニケーションを図ると共に、他の利用者との関係もサポートして行く。家族にも面会をお願いし協力して頂いている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	会話をしながら明るい雰囲気の中で出来る事は手伝っていただき、本人の得意のうどん作りなど一緒に行い、生活の励みになるよう支援している。		
28	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族に相談、同意を得ながらケアして行く。状況の変化時は連絡し必要があれば面会、外出をして頂いている。		
29	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	家族の事情も考慮しながら、本人の思いや状況を伝え理解を得ている。		
30	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	利用者の実家や元の住まいなど、可能な場合車で外出している。他の施設に入所している兄弟や友人の面会も行っている。		
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者同士の相性を職員が把握し、考慮しながら利用者間でのコミュニケーションが図れるよう、職員が援助している。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退所時に「何かあったらご相談ください」とお話しするが、こちらからは積極的に関係を継続することはしていない。		
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	自分の思いを伝えられない人については、以前の暮らしの様子を家族に聞いたり、普段の生活の様子や会話を通じ、お気持ちを汲み取るよう支援している。		
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	契約前後に家族の方と本人に話しを聞いている。本人には毎日の関わりの中で会話を通して把握できるようにしている。		
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	生活のスタイル、一日の体調や気持ちの変化の様子、本人の持っている力を理解し、やりたい事などを把握する。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	家族、本人との話し合いの場を設けたり、ケアカンファレンスを行い、現場の意見を取り入れながら介護計画を作成している。		
37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	見直しや次期の計画作成時に現場職員、家族も含め検討して行きたい。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別ファイルでバイタルや食事、入浴、排泄、日々のご様子などの記録を行っている。記録がケアの実践から改善までと整理できていない。		行動、しぐさ、表情、言動などからも日々のご様子を記録に残し、ケアの改善に生かして行きたい。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	緊急時の通院や定期通院、眼科、皮膚科、整形外科など、身体的な状況を見ながら支援している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	歌や音楽・踊りのグループに来ていただき生活に楽しみを持っていただく。又、社協のボランティア会合に出席しお願いなどをする。読み聞かせやお話し相手の方々にもわずかではあるが支援していただく。		項目にある広範囲な支援・協力は随時得られるようにし、まず、日々の生活に即した支援を得られるよう努めて行きたい。
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	他事業所のケアマネジャーとの相談は随時行っているが、他のサービス事業者など、実際に活用された例はない。		要望や必要性に応じ、外部のサービスが受けられたり、地域の活動にも参加できるよう、積極的に支援して行きたい。
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	特に実例はない。		
43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医の受診については、本人、家族の意向を元に適切に支援している。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	家族と相談しながら、提携の精神科病院に定期通院している。		
45	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	看護師資格のある職員を計画作成担当者として配置している。生活記録や通院記録を整理し、医療機関への相談や状態に応じた支援をしている。		
46	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院時は定期的に面会に行き、病院スタッフや家族の話しを聞き、退院時の受け入れに備えている。退院時の本人の状況を把握し、適切なケアを行えるよう努めている。		
47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	契約時に緊急の対応や、重度化・終末期に向けた施設の考え方や方針はお話しし、ご理解を得ている。		重度化・終末期については、家族や医師と十分に相談を行い、一律的な対応とならないよう取り組みたい。
48	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	利用者の状態を見ながら、基本方針として、施設での対応が難しい場合には、他施設への移転となる。終末期については実例がなく、家族や医師と相談しながらの対応となる。		ケースバイケースで、一律的な対応とならないよう取り組んでいきたい。
49	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	移転先への情報提供を行っている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1) 一人ひとりの尊重			
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>自尊心を傷つけたり、プライバシーを損ねるような言葉かけ対応には、十分気を付けている。個人情報等、申し送り事項は申し送り帳を活用し、情報の共有を図っている。</p>	
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>日頃の利用者との関わりを重視し、気楽に話しが出来るような雰囲気作りをしている。個人の状態に合わせ理解出来るような対応をしている。</p>	
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>入浴時間は、希望を聞きながら対応している。食休みは、個人のペースで休んで頂いている。</p>	<p>個別の過ごし方は、利用者の希望を聞きながら、出来ることから支援して行きたい。</p>
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>散髪はその人の希望で理髪店へ行っている。外出や行事の時には、おしゃれをして出掛けている。</p>	<p>女性は外出時にお化粧して出掛けられるように支援して行きたい。</p>
54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>料理の下ごしらえ等手伝って頂いている。職員が各テーブルについて、会話をしながら楽しく食べられるよう支援している。</p>	<p>利用者の好みのメニューを取り入れたり、たまには外食の機会も増やして行きたい。</p>
55	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>おやつ等は、買い物と一緒に買った方の希望で購入している。お茶・コーヒ・ココアも利用者の希望を聞きながら提供している。</p>	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	<p>気持よい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	<p>気持ち良く過ごして頂く為に時間を決めて、誘導したり排泄のサインを見て、トイレ介助を行っている。夜間も様子を見ながら見守りや介助を行っている。</p>		<p>失敗した時は、さりげなく対応し、かぶれなどにも注意したケアに取り組んでいる。</p>
57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>本人の希望を聞き、入浴回数を増やしたり、入浴出来なかった場合には、日の変更や時間調整を行っている。</p>		<p>体調不良時は、清拭・着替えを行っている。</p>
58	<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	<p>利用者の生活習慣、体調、夜間の睡眠状態を見ながら休んで頂いている。集団生活なので、静かに休めるよう、配慮している。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>針仕事、料理の下ごしらえ、うどん作り、草花の手入れ、家庭菜園など出来ることをやって頂きながら、楽しく過ごせるよう支援している。</p>		<p>利用者さんも交えて、手作りおやつを作ったり、工作や手芸も行っている。</p>
60	<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>個人の能力で自己管理している方。家族から預かり使用するとき本人に渡して使用する方。ホームで全て管理する方がいる。</p>		<p>金銭管理の出来ない方は、職員が対応して、利用者が好きな物を選んで買って頂けるよう支援して行きたい。</p>
61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>毎日の食品の買い物は交代で出掛けている。季節の花見は予定を立てて行っている。散歩は利用者の希望により随時行っている。</p>		
62	<p>普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>	<p>居室担当が個別に衣類の購入、外食、ドライブ、彼岸の墓参り等、希望を聞き必要に応じた支援をしている。</p>		<p>家族への協力もお願いし、本人の希望に添えるよう、外出の機会を増やして行きたい。</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	時間帯を見ながらホームの電話を使用して頂いている。年賀状やクリスマスカードも支援しながら書いて頂いている。		家族からのお手紙の返事を出せるよう、支援して行きたい。
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	自室や共有スペースのソファなどで、過ごして頂いている。		
(4) 安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	利用者の状態の変化に応じて、見守りの強化や、利用者に合わせて柔軟なケアが提供できるよう、取り組んでいる。		
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は自由に出入りが出来るようになっている。職員が見守りしたり、一緒に散歩に出掛けている。		
67	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	見守りが利用者の負担にならないように、声掛けをしながら、安全確認をしている。夜間は2時間おきに居室の巡視を行っている。		
68	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	注意の必要な薬品等は、保管・管理している。		整理整頓に行き過ぎがないよう、生活感のある空間に配慮しながら、利用者の状態に応じて対応して行きたい。
69	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	利用者に対しては、状態を把握し、見守り・声掛け・付き添いを行う。職員個々も機会を作り、防止の為に技術・知識の修得に取り組んでいる。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	開設3年半の中で定期的ではないが、消防署の指導で応急救護訓練を二度行い、デイサービス職員と合同で普通救命講習会を一度実施する。		応急救護訓練を年に一度、定期的を実施して行きたい。
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	現在まで年に一度、夜間想定避難訓練を実施している。利用者もほぼ全員戸外に避難する。地元町会との防災協定を結び、協力をお願いしている。		
72	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	契約時に起こり得るリスクと、職員の安全対策や取り組みについて説明を行い、ご理解を頂いている。体調の変化時は、随時家族へ連絡をしている。		本人の意思を尊重し、家族にも理解して頂きながら、生活環境を整えて行きたい。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日のバイタルチェック、食事摂取量、排泄、睡眠状態、活気、歩行状態等の観察を行い、医療機関との連携を図っている。		
74	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人ファイルを作成し、現在服用している薬の理解をし、薬をセットする人、与薬する人、与薬の確認をする人の3人の職員で対応している。		
75	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	日頃の排泄状況の確認をしながら、野菜や乳製品を取り入れ、水分補給、散歩、運動も行っている。		入浴時の腹満の状態観察や本人の訴えも聞きながら、必要な支援をして行きたい。
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	夕食後の義歯洗浄はほとんどの方が行っている。食後のうがいや歯磨きは、声掛けをして行うようにしている。		毎食後の口腔ケアを習慣づけられるようにして行きたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事状況は毎食チェックしている。食事量や食事形態も個々に把握し調整している。一日を通して水分補給を行っている。</p>		<p>体調の変化に応じた食事提供を充実して行きたい。旬の食材を使い、家庭的な料理を提供して行きたい。</p>
78	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）</p>	<p>食事前、外出後、掃除後のうがい・手洗いを行っている。インフルエンザ予防接種も家族の同意を得て行っている。職員は毎月1回、検便検査を行っている。又、研修にて知識を修得している。</p>		
79	<p>食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>食材は毎日冷蔵庫内を点検し購入している。調理器具は毎食後、消毒している。</p>		<p>継続して職員の調理前の手洗い・手指の消毒を徹底して行く。</p>
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>				
80	<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>ベンチや縁台を利用して靴を履いたり、ひと休みや憩いの場として利用している。風鈴や草花を置き、親しみやすい雰囲気作りをしている。</p>		
81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>リビングには季節の草花を生けたり、利用者の作品を飾っている。新聞・雑誌等自由に見て頂いている。季節行事も利用者を交えて行っている。</p>		
82	<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ベランダや玄関の縁台やリビングの畳のスペースにて気の合った人達で談話されたり、お一人でゆっくり過ごされている。</p>		<p>冬場はコタツを利用して、お茶を飲み寛げるようにして行きたい。</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家族にお願いし、以前使っていた家具やなじみの深い物を持ってきて頂いている。写経や写真を飾っている人もいる。		お部屋が殺風景にならないように、利用者の状況を見ながら、以前愛用していた物を家族にお願いして行きたい。
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	リビングでは温湿度計を活用し空調管理を行っている。居室はエアコンと窓の開閉にて空調管理を行っている。トイレの消臭は換気扇と消臭剤を使用している。キッチンで調理中は換気扇を使用している。		冬場の空気の乾燥を防ぐため各居室に加湿を行い、健康管理に気をつけて行きたい。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレ・浴室の手すりを利用しながら安全確保に努め、自立した生活が送れるよう支援している。夜間のトイレ利用時は常夜灯を使用している。		
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	各居室の出入りに表札や目印を付けている。トイレも分かりやすい目印を付けている。		
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	ベランダや玄関にプランターを置き、草花や野菜を栽培している。		

. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の2/3くらいの	
		利用者の1/3くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の2/3くらいと	
		家族の1/3くらいと	
		ほとんどできていない	

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くいない	
98	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が	
		職員の2/3くらいが	
		職員の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の2/3くらいが	
		家族等の1/3くらいが	
		ほとんどできていない	

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

取り立ててはありませんが、利用者に寄り添ったケア、利用者に思いを感じ、一緒に喜び、悩むことを大切に、取り組んでいる。